



Ceramic Fan Heater

デロンギ
セラミック ファンヒーター

型式番号

**DCH7032J
/DCH6031J**

家庭用

取扱説明書

保証書付



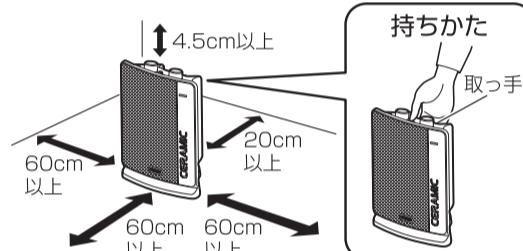
この度は、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後
は大切に保管してください。

本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。

※本書のイラストは、DCH7032Jを使用しています。

設置について

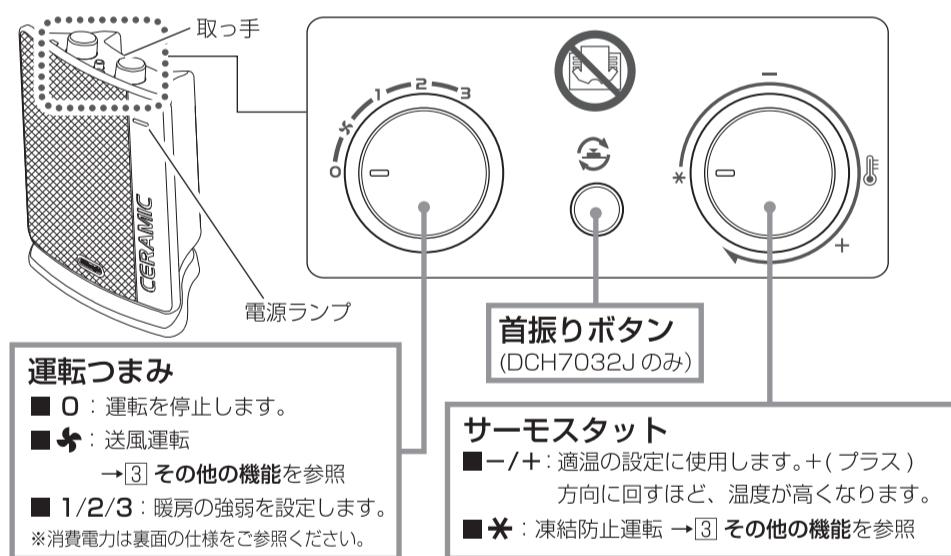
壁やカーテンなどの燃えやすいもの
から右図の距離を取り、設置して
ください。
毛足の長いじゅうたんや凹凸のある
床の上を避け、平らな場所に
設置してください。本機が倒れたり、
不安定な場所で傾いたりすると
安全装置が働き電源が切れます。



本機の持ちかた

本機を移動するときは、取っ手を持って移動してください。

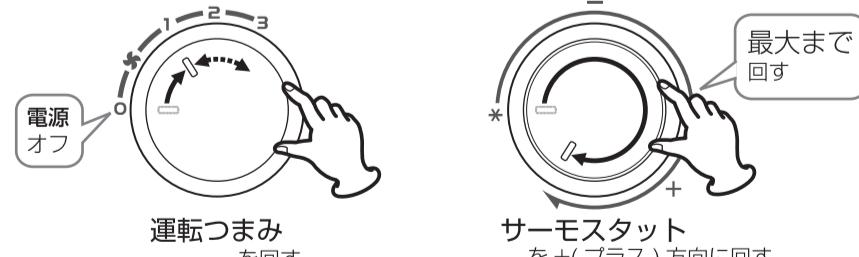
1 各部の名前と機能



2 基本の使いかた

1 準備：電源プラグを差し込む

2 運転開始：暖房の強弱(1弱/2中/3強)を選ぶ → 暖房運転を始める



運転中：十分に暖まったら、サーモmostatを-(マイナス)方向にゆっくり回します。
また、もう少し暖めたいと感じたら、+(プラス)方向に回して、暖かさに応じて調整してください。

3 運転停止：サーモmostatを*に戻す → 運転つまみを0に戻す

使わないときは 電源プラグを抜く！

保証書（共通）

ご販売店様へ、※印欄は必ずご記入ください。

持込修理

DHI-130381

製品名: デロンギ セラミック ファンヒーター		型式番号: DCH7032J / DCH6031J
お客様 ご氏名: TEL: お届け先 住所:	様 販売店	※店名・住所・TEL: 印

※お買い上げ日: 年 月 日 保証期間: お買い上げ日より3年間 保証対象: 本体

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社サービスセンターに直接ご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担になりますので、ご了承ください。
- 本書のご提示がない場合
- 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷
- お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷
- 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷

木．一般家庭用以外（例えば業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
ヘ．本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えた場合

ト．消耗品が消耗し、取り替えが必要な場合
5．本保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

6．本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記のデロンギ・ジャパンサービスセンターにお問い合わせください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。



この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル(PBB)、ポリブロモジフェニルエーテル(PBDE)の含有率が、いずれも含有率基準以下であり、環境に配慮して製造されました。

デロンギ・ジャパンサービスセンター（受付時間：土、日、祝日を除く毎日 9:30～17:00）

コールセンター Tel.0120-804-280 Fax.045-450-3291

〒221-0022

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ(URL)..... <http://www.delonghi.co.jp/support>

3 その他の機能

首振り運動

(DCH7032Jのみ)
左右45度ずつ首振りします。



もう一度押すと
首振り停止！

凍結防止

周囲の温度が5°C以下にならないように運転します。冬期の室温の下がりすぎを防ぎます。

① 運転つまみを に合わせる

② サーモmostatを+(プラス)方向に最大まで回す



カチッ

と音がしたら
送風開始

お手入れ

お手入れや収納をする場合は必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う。

本体が汚れたら

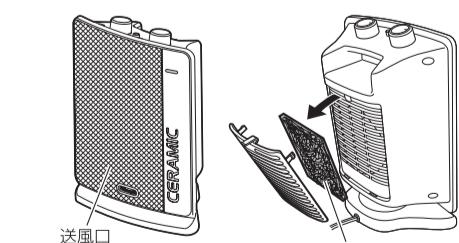
- 乾いた柔らかい布で拭く。
- 汚れがひどい場合：
布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭く。
- 洗剤やクレンザー、シンナー、ベンジン、金たわしなどは、使用しない。

収納するときは

- 本体やフィルターのお手入れをする。
- ホコリがたまらないないようにカバーなどをかけて、湿気の少ない場所に保管する。
- 保管の際は、逆さまに立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かない。

フィルターと送風口のお手入れ

- 1週間に1回程度をめやすに、フィルターと送風口にたまつたホコリを掃除機で吸い取る。



吸気口のフィルターがホコリで詰まりると
・温風の勢いが弱くなることがあります。
・安全装置が働いて運転が停止することがあります。

フィルターを外したまま本機を使用しない。

安全上のご注意

<必ずお守りください>

- ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人の損害を未然に防止するものです。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を「警告」「注意」の2つに分け、説明しています。

警告 誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの

注意 誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

禁止 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

指示 この絵表示は、必ずしていただく「強制」内容です。

警告

定格 15 A (100 V) のコンセントを本製品だけ単独で使用する
(火災の原因)
※ ゆるんだコンセントは使用しないでください。
※ 延長コード、テーブルタップ、ソケットなどは使用しないでください。

電源プラグは根元までしっかりと差し込む
(火災の原因)



定期的に電源プラグやコンセントのほこりなどを取る
(火災の原因)

異常・故障時には使用を中止する
(火災・感電の原因)
※ 故障・異常時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

お子様、自分で本機の温度を調節できない方には必ず付き添う
(やけど・感電・けが・火災の原因)
※ お子様、乳幼児、自分で本機の温度を調節できない方が近くにいるときは、必ず大人が付き添ってください。

電源プラグ・電源コードを破損させない
(火災・感電の原因)

- コードに重たいものを載せたり、本機の下敷きにしない。
- コードを無理に引っ張ったり、束ねたまま使用しない。
- 送風口や他の熱機器に近づけない。
- 電源プラグ・コードに異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社サービスセンターに点検・修理を依頼してください。



警告

カーテン、布団など燃えやすいものの近くで使わない

(火災の原因)

- コンセントのすぐ下で使わない。
- カーテンなど燃えやすいものの近く、テーブルや机の下で使わない。

穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない

(火災・感電の原因)

スプレー缶やカセットボンベを本体の近くに置かない
(火災・けがの原因)

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
ぬれ手禁止 (感電の原因)

本製品を分解、改造しない
分解禁止 (火災・感電の原因)

本機を布団や衣類などで覆わない
(火災の原因)

覆い掛け禁止 ● 乾燥など他の用途に使用しない。

注意

平らな安定した場所に置く
(火災・けがの原因)

電源プラグを抜く
(火災の原因)

長時間同じ部位を暖めない
(やけどの原因)

犬や猫などのペットの暖房に使わない
(火災の原因)

操作部に水やジュースをこぼさない
水ぬれ禁止 (火災・感電の原因)

水・湿気の多い場所で使わない
水場使用禁止 ● 屋外や浴室など水や湿気の多い場所で使わない。(火災・感電の原因)

運転中および使用直後は、送风口など高温部に触れない
(やけどの原因)

